

DX人材育成プログラム

株式会社ココエ



株式会社ココエについて

MISSION

DXで日本の企業をゆたかに

事業内容

『DX支援』でビジネスを成功に導くコンサルティング・ファーム

所在地 : 〒107-0052
東京都港区赤坂8-12-16

設立 : 2016年2月

社員数 : 41名 (2023年1月現在)

事業内容 : デジタルマーケティング支援
DX人材教育支援

DX人材教育支援

『DX人材の不足』が足枷となり、DX化が進まないという課題からDX人材教育に特化したサービスを設立。

IT・DX部署のみでなく、**ビジネス現場にこそDX人材が必要**であるという理念のもとDX教育サービスを展開。初心者でも抵抗なく受講可能なコンテンツをご提供しております。

実績



株式会社JSOL





株式会社ココエ 代表取締役 近藤恵子

株式会社ベネッセコーポレーション、BBTの起業・新規事業に特化したビジネススクールを経て、2016年株式会社ココエ創業。700万人の会員を擁するベネッセの出産・育児に関する女性のコミュニティサイト「ウィメンズパーク」に立ち上げ期から携わる。複数の大企業をクライアントとしてプロジェクトマネージャーとして活躍。携わったプロジェクトは700以上。二児の娘を育てながら、大手クライアントを中心としたITコンサル会社、デジタルマーケティング会社を経営。



株式会社ココエ 取締役 川崎洋

株式会社ベネッセコーポレーションに入社後、グループ会社を含めた様々な事業領域のデジタルマーケティングに携わり、社内デジタル人材育成プログラムの立ち上げも行う。2019年に株式会社WACULに入社し、改善コンサルティングとともに、新規事業開発、外部向け講座講師、WACUL研究所での研究パートナーとして知見開発を担当。現在は株式会社ココエにてDX人材育成事業の立ち上げを責任者として担当。

ココエDX人材育成プログラムのご紹介



『DX』の真の目的



『DX人材』とは？

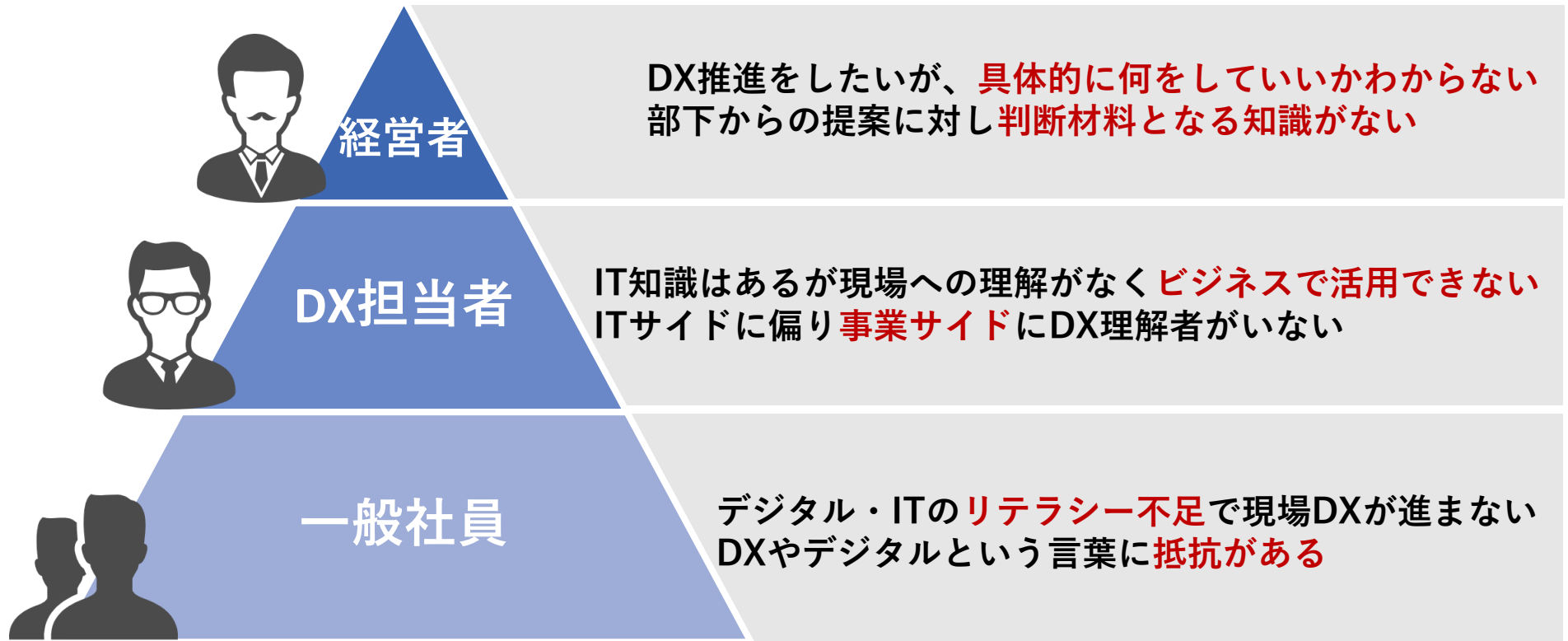
IT/デジタルを活用して、
ビジネス成果を上げる

ビジネス課題を、
DXにより解決できる人



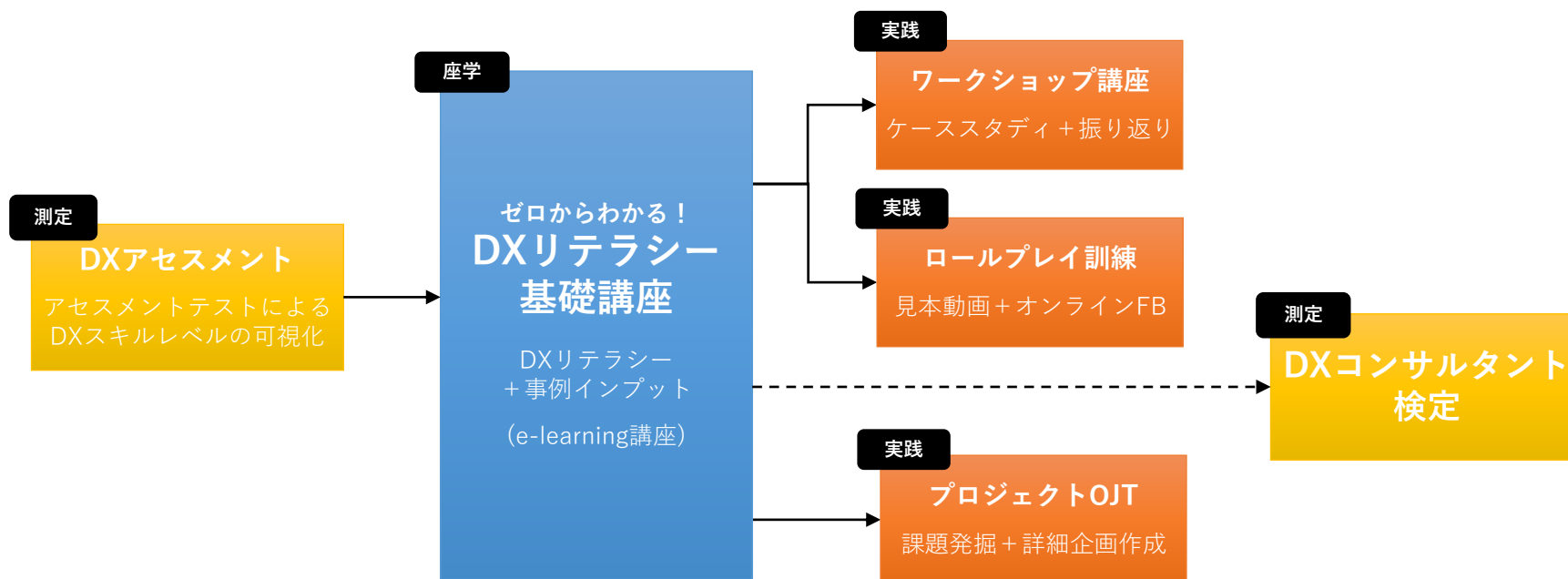
- ・ 「ビジネス」におけるDXとは**成果を上げる**ことが前提である
- ・ デジタル知識がある人ではなく、**ビジネス課題を解決できる人**がDX人材
- ・ DX成功には「**ビジネス理解**」と「**DX理解**」の両方が必要

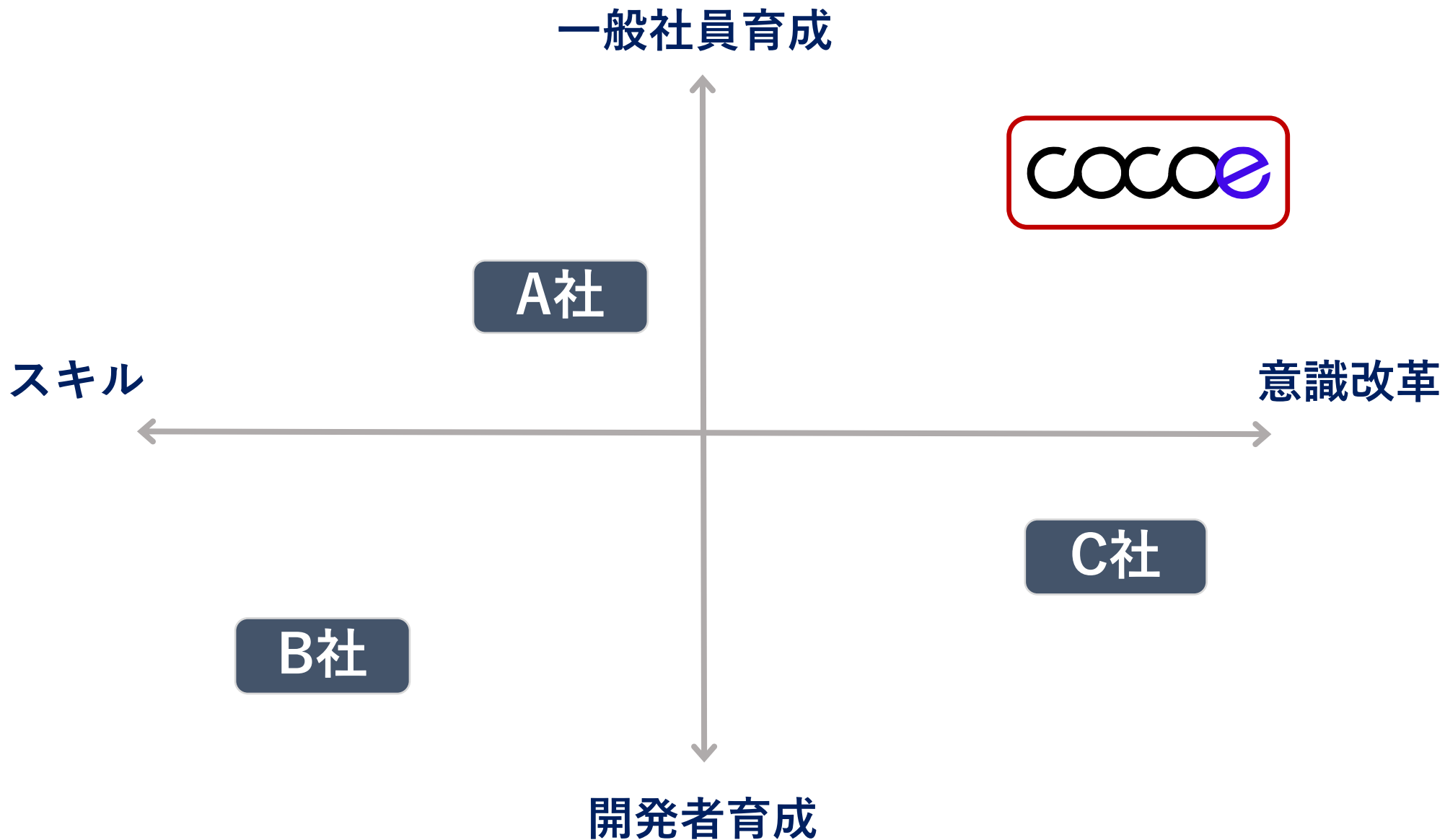
DX教育に関わるレイヤー層



経営も含めた全社員への「**基本的なDXリテラシーの底上げ**」と
ビジネス理解とDX理解を併せ持つ「**DX人材（DXコンサルタント）の育成**」が必要

「**座学 + 実践 + 測定**」の各段階に対して、**実践的なメニュー**を取り揃えています
育成ニーズに合わせて、サービスを**カフェテリア的に自由に組み合わせる**ことも可能です





実践DXにフォーカスした上で**育成成果の可視化**や**実行支援までをカバー**しています

観点	COCOE	A社	B社	C社
カリキュラム (DX実践)	◎ 検定に沿ったDX実践	○ DX実践だが根拠がない	△ DX実践でなく実質IT系	△ 事例などの知識中心
育成成果の可視化 (認定制度)	◎ テストや検定での認定	× 特になし	△ DXでなくIT系資格認定	× 特になし
DX実践支援	◎ OJTでのフォローアップ	○ フォローアップはあるが 学生組織	× 学習のみ	△ ファームによる実行で 自立実行できない
コスト	◎ 低額	◎ 低額	◎ 低額	× 高額 (5000万円～)
業界特化	◎ 各業界に特化	× 特になし	× 特になし	◎ 各業界に特化
最新リテラシー 維持	◎ 仕組みで解決	× 特になし	× 特になし	× 特になし
総合評価	◎ 育成可視化や実践まで カバー	○ 実践フォローはあるが 育成可視化できない	× IT寄りの内容	× 高額で採用可能企業が 絞られる

実際の現場で活用できる**実務的デジタルリテラシーを習得**できます

「動画視聴+定着テスト」によるe-learning形式（想定学習時間4～15時間 ※カスタマイズ可）

ベースメント学習



+

最先端トレンド



+

DX事例インプット

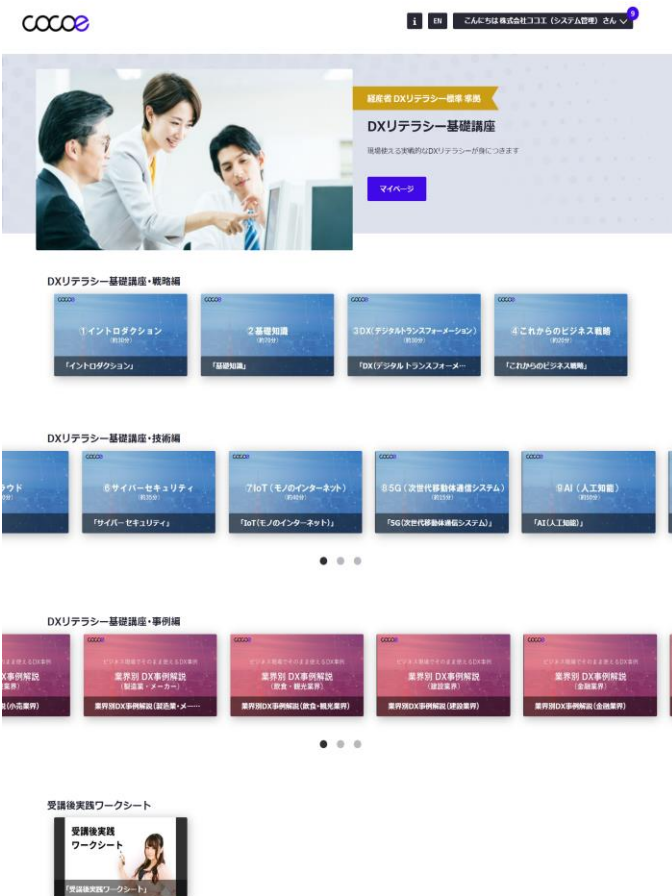


- ✓ 「**動画視聴+定着テスト**」によりITやDXの基礎知識を身につける
- ✓ デジタルありきでなく、あくまで**課題解決ありき**のリテラシー学習
- ✓ 「解決手段」として**実務上で有効**な内容に絞り込んだ学習

- ✓ クラウド・AI・セキュリティなど現場で**最低限必要**となる技術に絞り込んで学習
- ✓ よくある単なる技術解説ではなくその技術が必要とされる背景や**現場での使いどころ**を理解できる

- ✓ 実際にDX実務を進めていく上での「引き出し」となる**DX事例**を動画解説とともに学習できる
- ✓ 事例は**業界別にカテゴライズ**されており、適応する業界に合わせて都度確認・利用することが可能

実際の画面



講義テーマ

所要時間

学習領域

①	イントロダクション	30分
②	基礎知識	70分
③	DX	30分
④	これからのビジネス戦略	20分
⑤	クラウド	50分
⑥	サイバーセキュリティ	35分
⑦	IoT (モノのインターネット)	40分
⑧	5G (次世代移動体通信システム)	15分
⑨	AI (人工知能)	50分
⑩	システム開発とDX	30分
⑪	RPA	20分
⑫	ノーコード開発ローコード開発	10分
⑬	ブロックチェーン	20分
⑭	Web3	25分
⑮	メタバース	20分

デジタルに向き合うべき**必然性喚起**や
そもそも「デジタル・DXとは何か？」を学ぶ

ベースメント学習

現場で最低限必要となる技術に絞り込んで
「使いどころ」を学ぶことができる

最新トレンド学習

実際の画面

業界

所要時間

学習領域



① 小売業界	10分
② 製造業・メーカー	10分
③ 飲食・観光業界	10分
④ 建設業界	10分
⑤ 農業	10分
⑥ 金融業界	10分
⑦ 医療業界	10分
⑧ 教育業界	10分
⑨ 通信・メディア業界	10分
⑩ 不動産業界	10分
⑪ 物流業界	10分

受講後実践ワークシート

1 業界10分程度で隙間時間に手軽に学べ
DX実務を進める上での「引き出し」にできる

業界別DX実践事例集

学習内容を受講完了後にアウトプットしつつ
DXアイデアを収集できる

実践ワークシート

DXリテラシー基礎講座の4つの特長



1 実践的

実際の現場で使える
実践的な内容



2 学びやすい

知識ゼロの方にも
わかりやすい

スマホで隙間時間に
学ぶことも可能



3 育成成果を
測定可能

定着テストで
育成成果を可視化



4 低価格

追加の基盤導入不要で
高コストパフォーマンス

ココエのDXリテラシー基礎講座は、
経済産業省が提唱する「DXリテラシー標準」に準拠した講座です



経済産業省と独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が運営する
デジタル人材育成ポータルサイト「マナビDX」にて
「デジタル入門/基礎講座」としてココエの基礎講座を採用

ITトレンドやデジタル戦略について、**多数の著作・研修実施経験のある講師**がIT/デジタルに不慣れな方にもDXの本質をわかりやすく説明します



DXリテラシー基礎講座 講師
齋藤 昌義 氏

経歴

1982年 日本アイ・ビー・エム入社

1995年 日本アイ・ビー・エム株式会社を退職し、同社を設立し現職に就任

- ・ 国立大学系の産学連携を支援するシンクタンク設立に従事
- ・ 経済産業省（当時通産省）の新規事業補助事業に従事
- ・ IPAの新技术開拓プロジェクトに従事
- ・ 東大発ベンチャー企業の新規事業立ち上げプロデュース
- ・ IT・通信関連企業新規事業立ち上げをプロデュース 多数
- ・ ITベンダーの営業力強化研修やコンサル 多数
- ・ 講演やイベントのファシリテーション 多数
- ・ 講演、雑誌、Webメディア等の記事寄稿 多数

著書

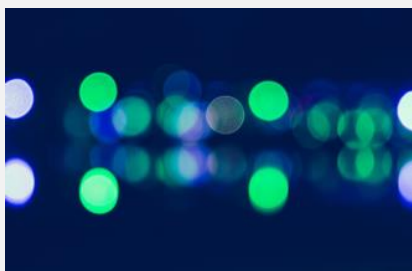
「システムインテグレーション崩壊」（2014）

「【図解】コレ1枚で分かる最新ITトレンド」（2015）

「システムインテグレーション再生の戦略」（2016）

DX基礎講座でインプットした知識を**ワークショップ形式でアウトプット訓練**します
また、**現場実践結果を再度ワークショップで振り返る**ことで、実践力を高めていきます

「DX基礎講座」による 事前インプット



- ✓ 実践的な内容に絞り込まれたIT・デジタルの基礎知識を「動画+定着テスト」で習得
- ✓ 実際にDX提案を進めていく上での「引き出し」となるDX事例も動画解説で学習できる

ワークショップ① (ケーススタディ)



- ✓ 5~6人グループに分かれて実施
- ✓ 事前に設定された顧客（ケース）に対して、想定される事業課題についてディスカッションを行う
- ✓ 課題の中でDXにより解決できることを見極め、基礎講座で習得した知識を生かしつつ提案作成する

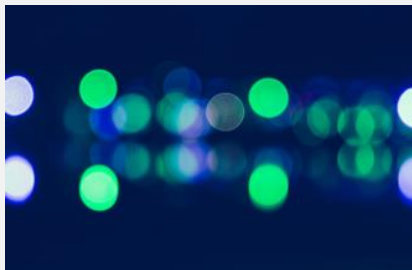
ワークショップ② (実践結果の振り返り)



- ✓ 実際に現場で提案等の実践を行う
- ✓ その結果をグループ内で発表しディスカッションを行う
- ✓ 振り返り結果を生かして再度実践

「DX基礎講座での学習」 + 「提案トーク見本動画」 で事前に学習・練習した上で、
オンラインでのロールプレイング実習を行います

「DX基礎講座」による 事前インプット



- ✓ 実践的な内容に絞り込まれたIT・デジタルの基礎知識を「動画+定着テスト」で習得
- ✓ 実際にDX提案を進めていく上での「引き出し」となるDX事例も動画解説で学習できる

提案トーク見本動画での 事前学習・練習



- ✓ ソリューションマップを使った顧客からの話の引き出し方や提案の仕方を見本動画で学習
- ✓ 見本動画で学んだ内容を繰り返し練習して身に着ける
- ✓ トークスクリプトは「問いかけ→回答」でフロチャート化

オンライン ロールプレイング



- ✓ Zoom等オンラインツールにてロールプレイングを実施
 - ✓ リアルに近い形で事前訓練を行うことで提案実施の心理的ハードルを下げる
- ※オンライン実施のためコロナ禍においても実施可能

業務課題と対応策の洗い出しを行った上で、**実際にDXプロジェクト企画へと詳細化**
上申して承認されれば、開発ステップへと進めていくこともできる

STAGE 1 業務課題・対応洗い出し



- ✓ 「業務課題洗い出しシート」に参加者は事前記入して提出
- ✓ ご提出いただいたシートを題材にグループワークで議論。デジタル・ITで解決していくべき課題を絞り込み、対応策を立案
- ✓ 今回のプロジェクトゴールを設定

STAGE 2 DXプロジェクト企画化



- ✓ 2~3か月でSTAGE1でのデジタルによる業務課題解決アイデアをDXプロジェクトとして企画化
- ✓ ココエの専門コンサルタントが隔週の定例MTGにて伴走支援
- ✓ 企画を詳細化していく上で必要なスキルはこの期間内に習得していただく

STAGE 3 専門スキル講座（オプション）



- ✓ 開発ステップに進むにあたってさらに必要な専門スキルセットを追加講座として学ぶことも可能（※別途お見積り）

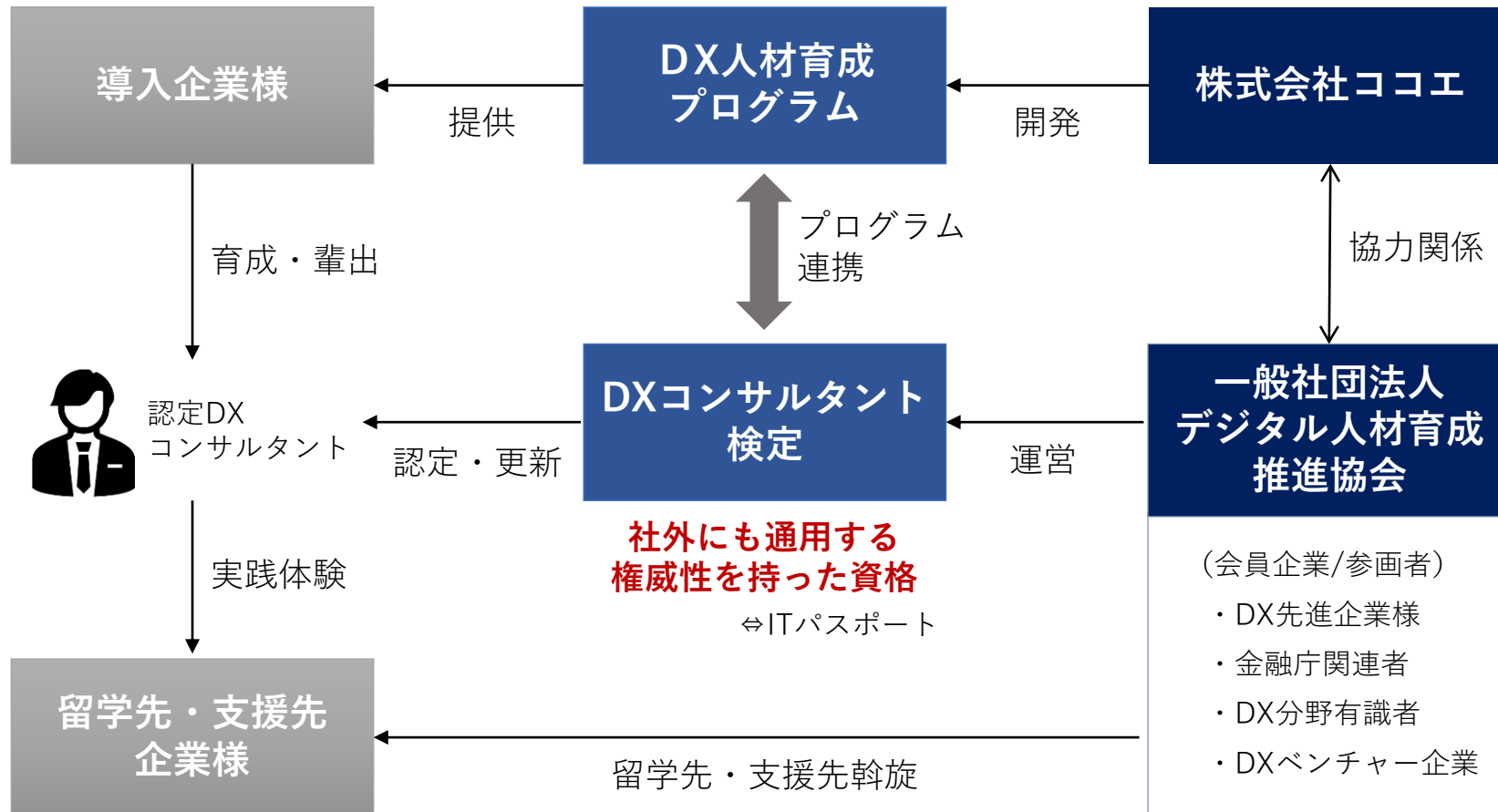
STAGE 4 開発ステップ（オプション）



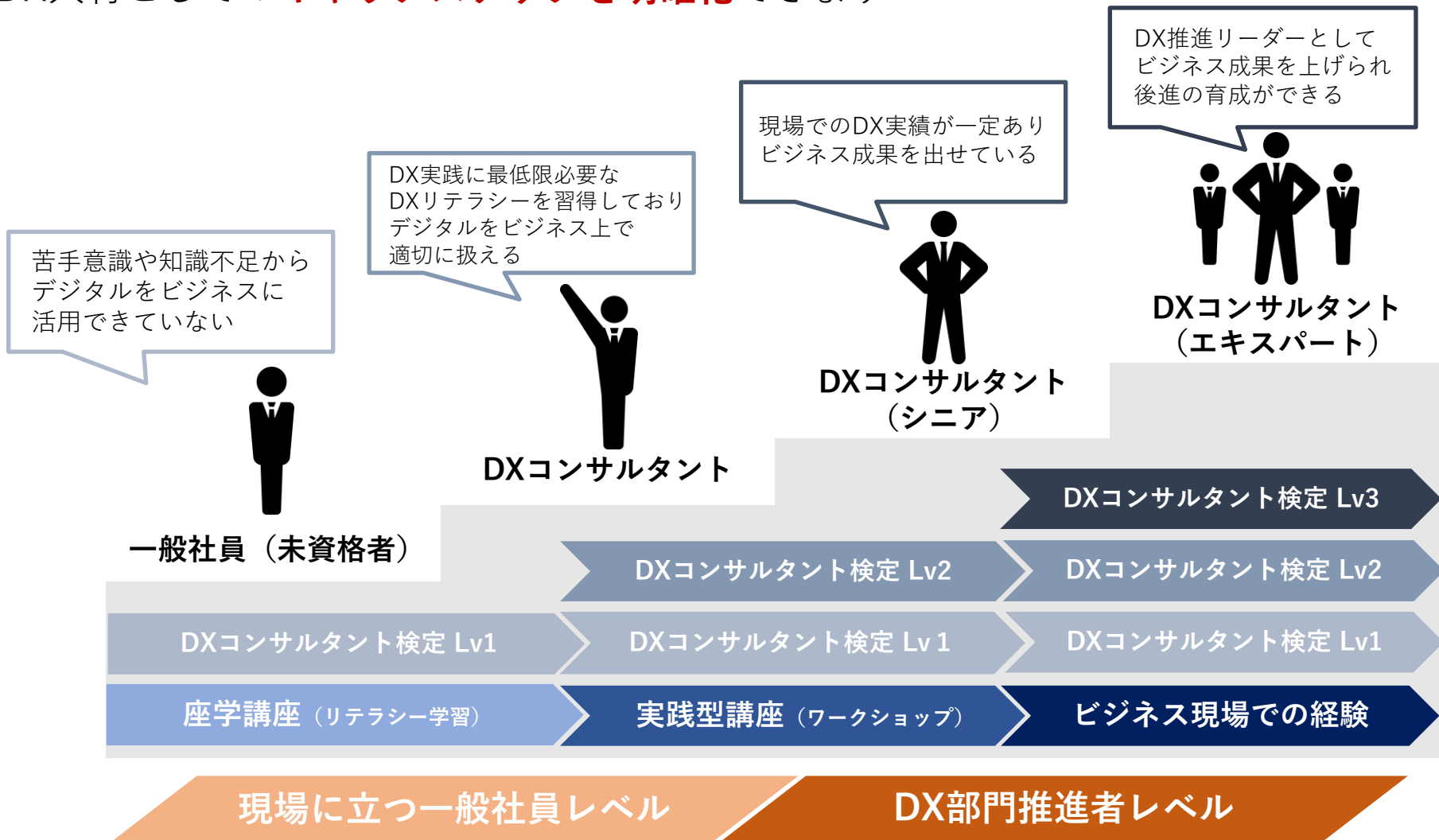
- ✓ 上申したDXプロジェクト企画が承認されれば、実開発のステップへと進める
- ✓ ココエの専門コンサルタントが引き続き伴走支援可能（※別途お見積り）

5 【全対象】DXコンサルタント検定

育成結果は「**DXコンサルタント検定**」により測定・認定することが可能
検定は「一般社団法人 デジタル人材育成推進協会」が運営する**公共性を持った資格**です



検定を育成ゴールとして活用することで**育成成果を可視化**するとともに
DX人材としての**キャリアステップを明確化**できます



導入事例紹介

福岡地所株式会社様

『DXリテラシー基礎講座』をご採用頂きました。

導入経緯

- ・ 経産産業省のDX構築を参考に、「なぜDXを行うのか」のマインド形成のためサービスを探していた
- ・ 経済産業省「マナビDX」でDXリテラシー基礎講座を知った

課題

- ・ 全社的にDXに取り組む流れはあったが、技術的な知識がない為、結局ITシステム部が主導になってしまう
⇒ **現場のDX（業務効率化）が進まず、全社的なDXは進まない**

導入への壁

- ・ デジタルに対する抵抗感なく、受講してくれるか
- ・ 受講時間を確保できるか

効果

- ・ **DXマインドを腑に落ちて習得**できた
- ・ なぜDXを行うのかを理解することが出来た

NEXT

- ・ モチベーションが高いうちに、次のアクションとして、アウトプットをしていく必要がある
- ・ whyからwhatやhowへスムーズに移行できるようにしていきたい

常陽銀行様



『DXリテラシー基礎講座』と『プロジェクトOJT』をご採用頂きました

導入経緯

- ・一つの企画を立てながら学びを立てるというプログラムを作りたいと思っていたところ、川崎（弊社取締役）の紹介を受ける。

課題

- ・フレームワークを使った思考プロセスを習熟しておかないと今後応用が利かないという危機感がある。
- ・システムのデジタル化も必要ですが、まず**根本的な行動習慣**を変えたい。
- ・お客様へ提案するにおいて、デジタル化の上流工程の基礎知識を抑えておく必要性を感じる。

導入理由

- ・**ITパスポート試験よりも実践的で、現場でのデジタル活用に繋がるe-learning講座**だった。
- ・細切れになっていないコンテンツで**じっくり学べて、確認テストで定着度も測れる**。
- ・コンテンツ量もちょうど良い。

効果

- ・ITパスポートでは学べない啓蒙の部分を学ぶことで、行員の**DX化への意識付け**を行うことが出来た。

NEXT

- ・今後は『取引先企業へのDX支援』を行う人材と『デジタルを活用したビジネス創出』を行える人材の育成を進めていきたい。



LIFESTYLE BRANDING
DIGITAL MARKETING

株式会社ココエ

〒107-0052 東京都港区赤坂 8-12-16

TEL : 03-6804-3755

<https://cocoe.co.jp>